



(専門的事項)

① 副作用

・本剤の投与によりまれに流涎、不穏状態、四肢あるいは頸部の振せん、運動失調の症状が現れることがある。このような症状が現れた場合には投与を中止すること。症状は通常数時間以内に回復する。

② その他の注意

・本剤の有効成分メトクロプラミドには、*in vitro*における試験で変異原性が認められたとする文献報告がある。  
・本剤の有効成分メトクロプラミドには、乳汁中への移行性が認められたとする文献報告がある。

【薬理学的情報等】

(薬効薬理)

薬理作用	作用機序
制吐作用	メトクロプラミドは中枢性嘔吐、末梢性嘔吐のいずれに対しても抑制作用を示す* <sup>1</sup> 。 中枢性嘔吐に対する抑制作用：第四脳室底にある化学受容体引き金帯(CTZ)のドーパミンD <sub>2</sub> 受容体を遮断することにより嘔吐を抑制する。 末梢性嘔吐に対する抑制作用：コリン作動性の上部消化管において、アセチルコリンの遊離を抑制するドーパミンD <sub>2</sub> 受容体を遮断し、アセチルコリンの遊離を促進して消化管の運動障害を軽減することにより嘔吐を抑制する。
消化管の運動促進作用	メトクロプラミドは、胃液、膵液及び胆汁の分泌を刺激することなく、胃及び十二指腸の運動を亢進する。 また、幽門部の狭窄を解消し、十二指腸各部を拡張させるため、胃食道への逆流を軽減する* <sup>1</sup> 。

\*<sup>1</sup> Prokinetic drugs: Metoclopramide and cisapride. *Dowling PA, Can Vet J* 36:115-116,1995

(臨床試験)

嘔吐の症状がみられた犬猫を対象とし、体重2.2~42.0 kg(平均9.2±9.1 kg)の犬に0.20~1.08 mg/kg(平均0.47±0.17 mg/kg)、体重2.1~6.5 kg(平均4.6±1.1 kg)の猫に0.40~0.81 mg/kg(平均0.53±0.10 mg/kg)の本剤を1日1~2回、2~7日間経口投与した。  
その結果、最終観察日の総合判定において「著効」を示した割合は、犬で89.74%、猫で92.59%となり、本剤の有効性が認められた。また、試験期間を通して、全ての症例で副作用は認められなかった。

各評価項目において改善を示した割合

評価項目	犬	猫
嘔吐回数	92.11% (n=38)	100.00% (n=27)
食欲	87.50% (n=32)	83.33% (n=18)
総合判定*	89.74% (n=39)	92.59% (n=27)

\*総合判定において「著効」と判断された割合

(社内資料)


【製品情報お問い合わせ先】

共立製薬株式会社 学術  
〒102-0073  
東京都千代田区九段北一丁目11番5号  
TEL:03-3264-7556


【包装】

100錠(PTP包装 10錠×10シート)

販売元

 **共立製薬株式会社**  
東京都千代田区九段南 1-6-5

製造販売業者

 **リケンベッツファーマ株式会社**  
埼玉県入間郡越生町成瀬829-6

開発元

 **Veterinarian Medical Development CO.LTD**  
**獣医医療開発株式会社**

®登録商標

獣医師、薬剤師等の医薬関係者は、本剤による副作用などによると疑われる疾病、障害若しくは死亡の発生又は本剤の使用によるものと疑われる感染症の発生に関する事項を知った場合において、保健衛生上の危害の発生又は拡大を防止するため必要があると認めるときは、上記【製品情報お問い合わせ先】に連絡するとともに、農林水産省動物医薬品検査所(<https://www.maff.go.jp/nval/iyakutou/fukusayo/sousa/index.html>)にも報告をお願いします。